

山地災害からの復旧（現在の状況）と課題

下越森林管理署村上支署 治山グループ 齋藤 紘希

1 被災当時の状況

令和4年8月3日から4日にかけて東北の日本海側や北陸地方では、前線の停滞と併せ、熱帯低気圧の影響により、線上降水帯が発生し、新潟県北部では記録的な豪雨となった。
新潟県関川村に設置されている下関気象観測所においては8月3日6時～4日6時までの24時間雨量が559.5mm、最大時間雨量148mm（8月4日1時～2時）となり、観測史上最多を記録した。

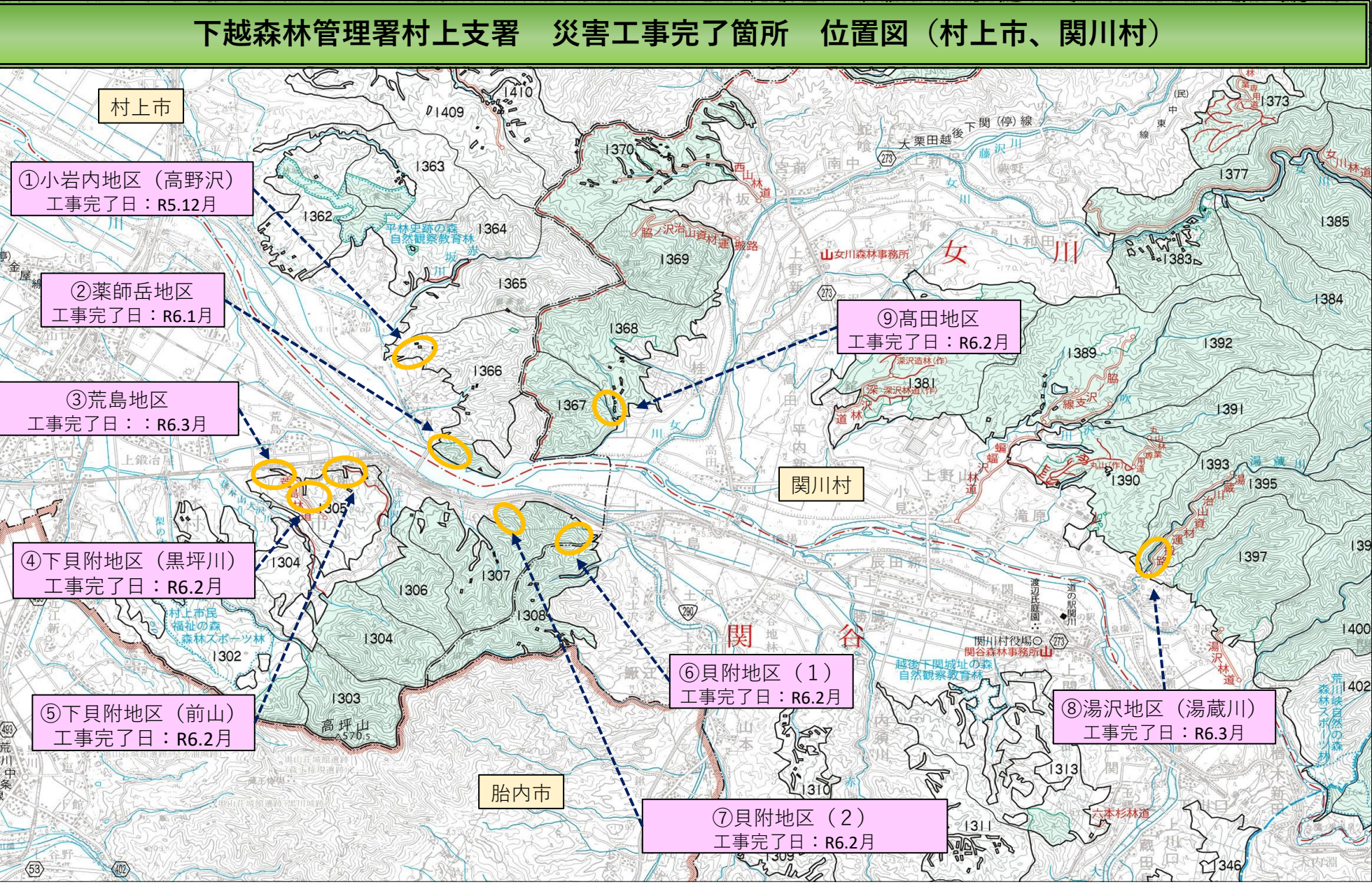


・24時間雨量 559.5mm
8月3日 6時～4日6時
・最大1時間雨量 148mm
8月4日 1時～2時

下関 2022年8月3日 (1時間ごとの値)			下関 2022年8月4日 (1時間ごとの値)		
時	降水量 (mm)		時	降水量 (mm)	
1	0		1	9.1	
2	0		2	14.9	
3	0		3	83.5	
4	0		4	3.9	
5	0		5	2.5	
6	0		6	7	
7	4.5		7	2.5	
8	16.5		8	0	
9	3.5		9	0	
10	6.5		10	0	
11	3		11	0	
12	8		12	0	
13	19.5		13	0	
14	8.5		14	0	
15	6		15	0.5	
16	4		16	0	
17	1		17	0	
18	2		18	0	
19	7.5		19	0	
20	18.5		20	0	
21	11.5		21	0.5	
22	12.5		22	0	
23	4		23	5	
24	51.5		24	0.5	



2 復旧状況



R4.8_災害復旧として9件
(27箇所)の工事を実施
事業費 18.5億円

災害当時より、国有林・民有林
(県、市・村)が一体となって各
種の復旧事業を行っている。



②村上市薬師岳地区



⑤村上市貝附地区（前山）



⑦村上市貝附地区（2）



⑨関川村高田地区

3 課題と今後の目標

復旧方針

○保全対象に直近する、土砂流出の危険性が高い渓流や、荒廃状況が明らかで溪床に不安定土砂（堆積土・流木）が堆積している渓流に対して溪間工主体の対策を実施
○保全対象が直下にあり、山腹崩壊地の拡大崩壊や、浸食し再崩落等がある崩壊地へ山腹工の整備対策を実施

短期課題

課 題	目 標
○土砂や流木処理の問題が発生	⇒ 国有林野内へ場所を確保
○予算確保（補正・経常）	⇒ 経常等予算による確実な復旧の実行

長期取組

○今後、計画されている施工箇所については優先順位に基づき、計画的かつ迅速的に治山工事の復旧対策を実施していきます。
○地元自治体及び各関係機関と引き続き、復旧計画等の情報を共有し、連携を図っていきます。

長期課題

○山腹崩壊地が多く点在しており、復旧対策（施工地までのアプローチ）の計画検討が必要である。
○施工地までのルートを確認する必要がある、設置までの期間が必要である。
○各関係機関等の調整及び、土地所有者との直接対応のため時間を要する。
○地元自治体等から、多く発生している崩壊地へ早期復旧に向けての要望がある。